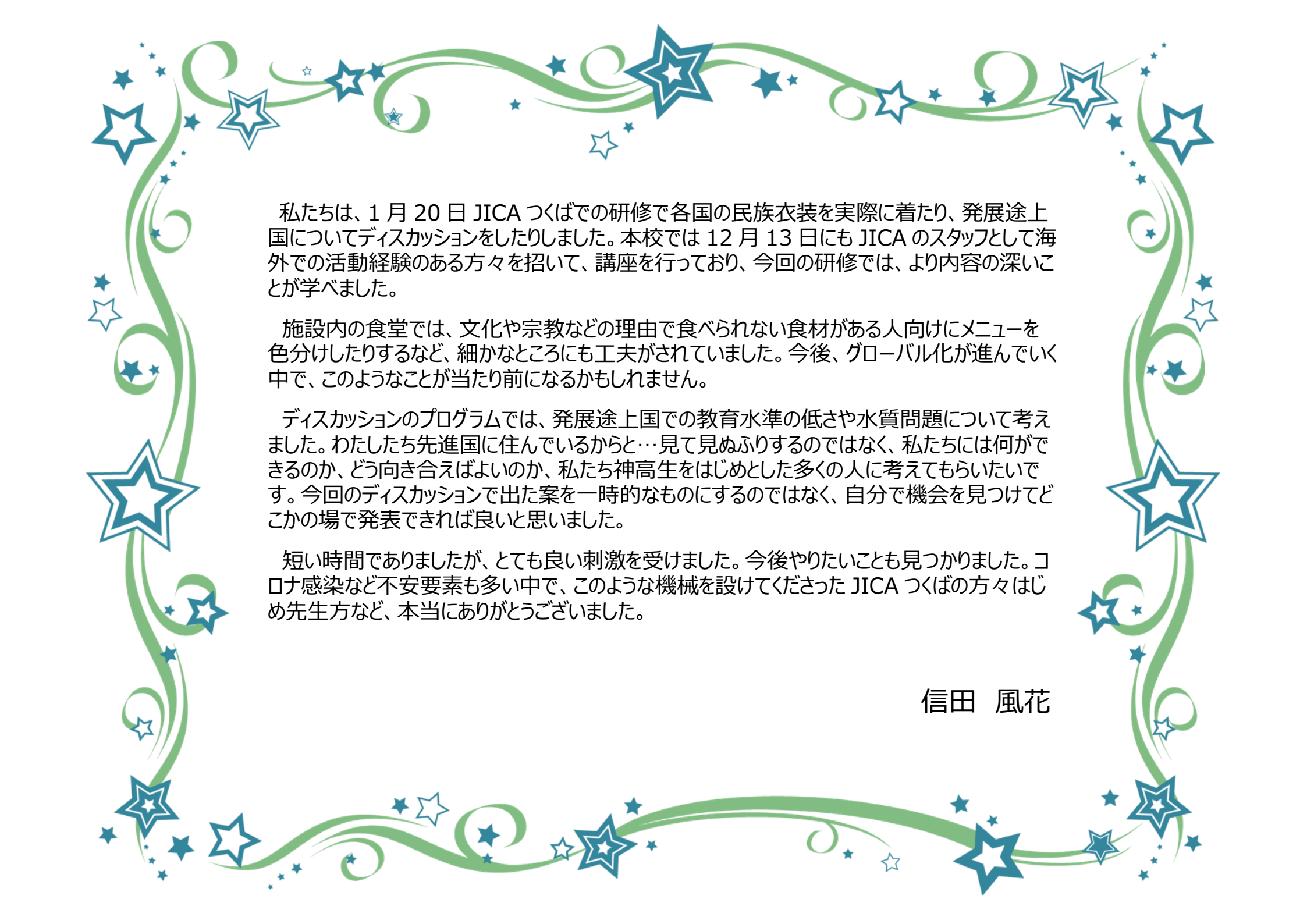




私たちは、1月20日 JICA つくばでの研修で各国の民族衣装を実際に着たり、発展途上国についてディスカッションをしたりしました。本校では12月13日にも JICA のスタッフとして海外での活動経験のある方々を招いて、講座を行っており、今回の研修では、より内容の深いことが学びました。

施設内の食堂では、文化や宗教などの理由で食べられない食材がある人向けにメニューを色分けしたりするなど、細かなところにも工夫がされていました。今後、グローバル化が進んでいく中で、このようなことが当たり前になるかもしれません。

ディスカッションのプログラムでは、発展途上国での教育水準の低さや水質問題について考えました。わたしたち先進国に住んでいるからと…見て見ぬふりをするのではなく、私たちには何ができるのか、どう向き合えばよいのか、私たち神高生をはじめとした多くの人に考えてもらいたいです。今回のディスカッションで出た案を一時的なものにするのではなく、自分で機会を見つけてどこかの場で発表できれば良いと思いました。

短い時間でありましたが、とても良い刺激を受けました。今後やりたいことも見つかりました。コロナ感染など不安要素も多い中で、このような機械を設けてくださった JICA つくばの方々はじめ先生方など、本当にありがとうございました。

信田 風花